



金城学院大学 産官学連携・ 地域共創への 取り組み



ともに考え、ともに動く。
社会に「新たな価値」を
生み出す。



研究を「推進」し、社会との協働を「加速」する

研究推進・地域連携センター

金城学院大学は、女子総合大学として、社会や地域の未来を支える活動を応援し、研究や人材育成を推進しています。

こうした社会ニーズに応え、大学の研究成果を社会に還元し、地域との「懸け橋」となるために設立されたのが、研究推進・地域連携センターです。

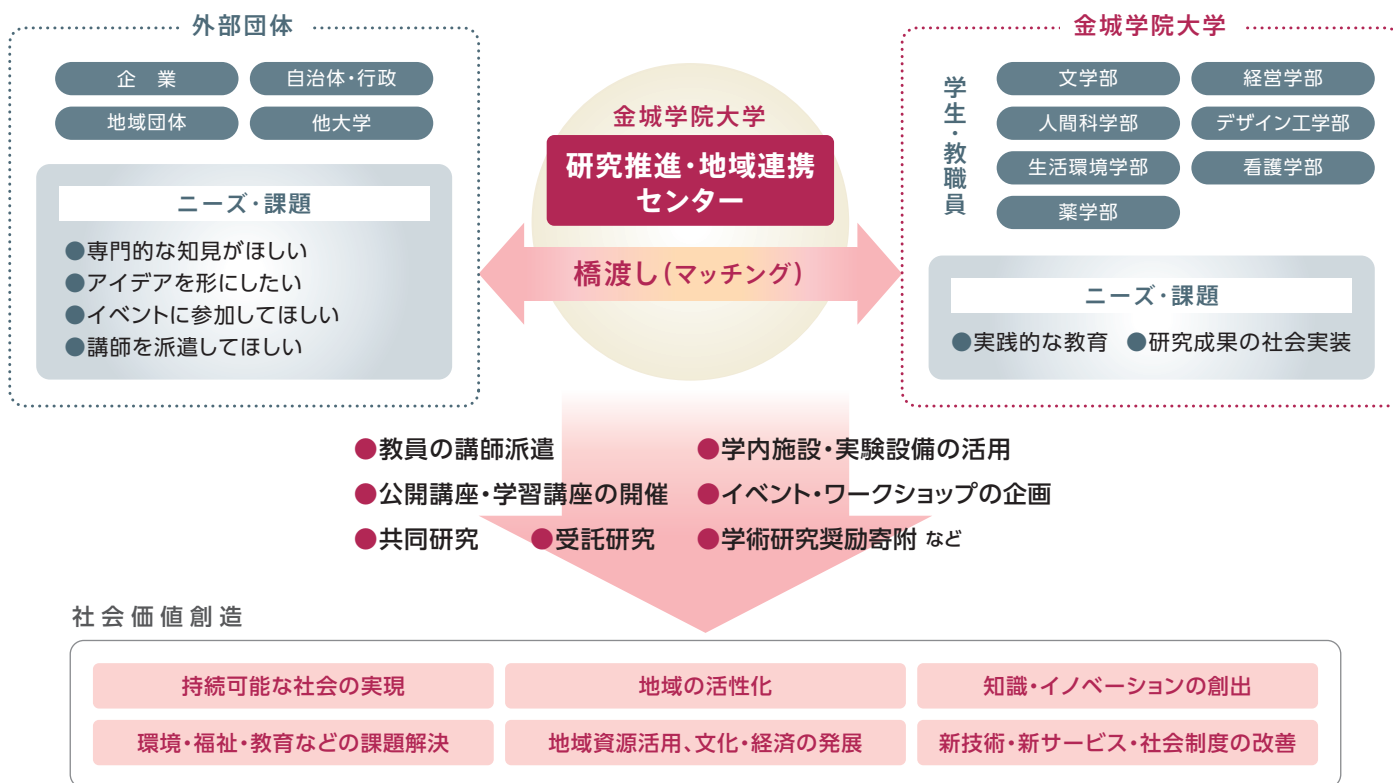


《ご挨拶》 未来を共に創るパートナーとして

本学の研究者は、学際的な視点で社会の複雑な課題に挑み、解決につながる研究を日々推進しています。こうした取り組みを社会に還元するには、民間企業や自治体、地域団体との協働が不可欠であり、多様なパートナーとの連携を通じてこそ、新しい価値が生まれると考えています。

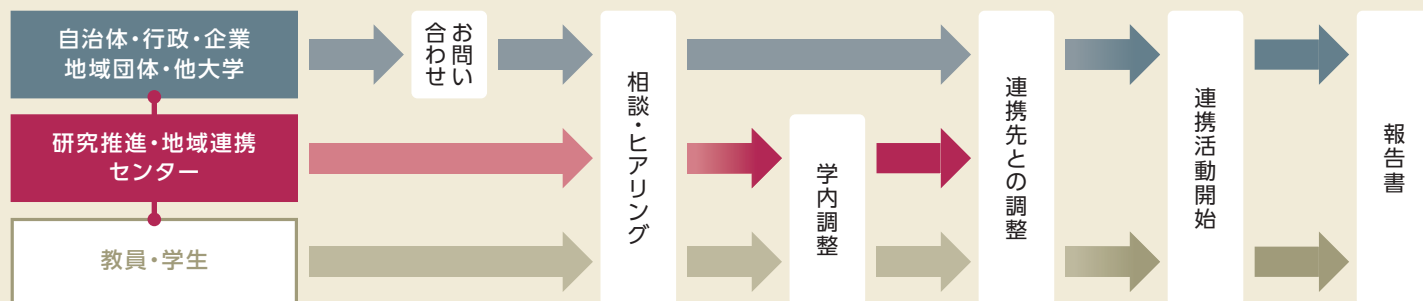
高齢化や人口減少をはじめ、日本が直面するさまざまな社会課題に対して、皆さまでともに考え、挑戦し、未来を共に創るパートナーでありたいと願っています。本学との協働を通じて、研究や知見を最大限に活かし、新しい価値を生み出す機会をご一緒できれば幸いです。

研究推進・地域連携センター長 安田孝美



産学官連携の流れ

民間企業、国、地方自治体などと連携し、共同研究や受託研究以外にも各種連携プロジェクトを通じて社会課題の解決に取り組んでいます。





ピックアップ連携事例

Featured Collaborations

プロジェクト科目のリアルな活動レポートは、
こちらからご覧いただけます。

▶プロジェクト紹介ページはこちら



大学と地域をつなぎたい

金城リリーマルシェ

Kinjo
Lily marche
金城リリーマルシェ

研究推進・地域連携センターが主催する「金城リリーマルシェ」は、大学と地域をつなぐことを目的としたイベントで、金城学院大学の芝生広場に地域の人気店や学生が集まります。学生考案の商品販売もあり、若い感性があふれる場になりました。



マルシェをきっかけに、地域の個人事業主の方や女性オーナーとのつながりも生まれ、地域ブランド商品の販路拡大や新商品の発信が進むなど、実務的な成果も出ています。今後も定期開催を予定。大学と地域と一緒に成長できる場として広がっています。



農林水産省東海農政局との連携

2025年7月に実施したマルシェでは、農林水産省東海農政局と連携し、食育や6次産業化をテーマに、学生や地域住民が楽しめるワークショップやパネル展示、キッチンカー出店などを実施。食や農業への理解を深める貴重な機会となりました。



若者との交流を通して、次世代につながる持続可能な地域づくりをしたい

富加町の地域連携プロジェクト



2023年7月、金城学院大学は岐阜県富加町と包括的連携協定を締結しました。女子総合大学として若者や女性の活躍を支援する金城学院大学と、次世代に向けたまちづくりをめざす富加町が協力することで、お互いの持続的発展と地域の未来づくりをめざしています。

建築デザイン学科

富加町の若者定住促進案を卒業研究で提案

協定締結後、学生が定住政策を卒業研究の題材にして、若者や女性の定住政策を提案。実現するための具体的な施策を検討・立案しました。



食環境栄養学科

地元の食材を活かした特産品・レシピ開発

富加町で採れる地元食材を活かしたレシピや特産品の開発に参加しました。試食会も開催し、その成果となるレシピは富加町の広報誌「広報とみか」で紹介されました。



国際英語学科

富加小学校との英語交流授業

富加小学校で英語の交流授業を行い、地図を使った道案内の英語活動やテーマ別プレゼン学習に小学生と一緒に取り組みました。



建築デザイン学科

地域の魅力をグッズデザインで発信

富加町の公式マスコットキャラクター「とみぱん」のTシャツやポロシャツなどのグッズが誕生。学生デザインのロゴがナップサックといったノベルティグッズにも活用されています。





「企業」との連携プロジェクト事例

Collaboration with Companies

若者の感性、視点から新しい旅のスタイルを提案

海外旅行企画プロジェクト



全学科 × 株式会社HIS

HISの実務担当者から学ぶPBL型授業。韓国・タイ・香港をテーマに、航空会社や政府観光局、空港と協働し、学生主体で魅力溢れる旅行企画を立案。最優秀企画は実際に商品化・販売されました。



記事制作を通じて、名古屋の魅力を地域に発信

ナゴレコ 美味しいグルメライティング



全学科 × 株式会社トラエル

名古屋グルメの魅力を発信するWebマガジン「ナゴレコ」の金城学生編集部を発足。自分たちで取材、撮影、執筆を行ったグルメ特集記事を公開しました。



傘の使い捨て問題に挑み、伝統とSDGsをつなぐ新しい価値を提案

傘のハンドルカバーブランド「Rella」



経営学科 × 山上商店 × cucuri × 株式会社ウル × 合同会社ありまつ中心家守会社

都築ゼミの学生が、ビニール傘の使い捨て問題に着目。伝統工芸「有松絞」の布を用いた傘ハンドルカバーやシュシュを開発・販売し、産学連携でSDGs視点の製品化を実現しました。



専門家の視点から地域の子育て家庭を支援

「みんなで子育て」番組連携プロジェクト



現代子ども教育学科 × グリーンシティコム株式会社

育児の悩みに専門家が答える番組「みんなで子育て」を共同企画・出演。専門知識とメディアの情報発信力を活かし、地域の子育て家庭を支援しました。



レモンの価値を、メニュー開発と食育を通じて発信

レモンプロジェクト



食環境栄養学科 × ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

学生食堂や地域飲食店でメニュー開発・販売を実施。東谷山フルーツパークでの食育講座では、学生が講師となり子どもたちにレモンの価値を伝えています。



学生の視点で、おせちに新しい楽しみ方を提案

おせち開発プロジェクト



食環境栄養学科 × 松坂屋、株式会社八百彦本店、一朶

清水ゼミの学生が伝統的なおせちに革新的なアイデアを加え、スイーツ重を融合した「おせちdeティータイム」を開発。地域企業と協働し、伝統食の可能性を切り拓きました。



太陽光パネル廃材ガラスの新たな活用法を提案

sola Grass Project



建築デザイン学科 × 石塚硝子株式会社

学生が石塚硝子と産学連携し、廃棄太陽光パネルのガラスをアップサイクル。デザイン提案と試作品を制作し、あいちサーキュラーエコノミー推進の一環として資源循環型社会の実現に貢献しました。



障害のある人の“働く”を知り、その情報を広める

障害のある人たちの働くを応援するプロジェクト



情報デザイン学科 × 久遠チョコレート

学生が久遠チョコレートの工場見学などを通して、障害のある人の働く環境を学び、多くの人に伝えるためにコラボパッケージ商品を制作・販売。ドキュメンタリー映画の上映会も実施しました。





「自治体」「地域団体」との連携プロジェクト事例

Collaboration with Local Governments and Community Organizations

地域の子どもたちと交流による地域コミュニティの活性化

「MACHIKOYA」プロジェクト



金城学院大学 × MACHIKOYA連携協定

学生が、大森・金城学院前駅構内に誕生した地域交流拠点「MACHIKOYA」の運営ボランティアとして参加。イベント運営を通じて、世代を超えた交流を促進し、地域コミュニティの活性化に協力しています。



分野横断で地域と協働し、瀬戸市の魅力発信と活性化に貢献

瀬戸市と学生が創る地域活性プロジェクト



経営学科 × 瀬戸市

畠山ゼミの学生が、瀬戸市のコミュニティ組織や旧小学校、商店街などと連携。地域の魅力発信や子ども支援、グルメ商品開発など多様なプロジェクトを展開しました。



子どもたちの消費者市民としての意識や理解を育む

体験型の消費者教育イベント「キッズタウンKINJO」



経営学科 × 名古屋市守山区役所

子どもたちが仕事体験を通じてお金を稼ぎ使う過程を学べる体験型消費者教育イベントを企画・実施。多くの小学生に消費者教育を実践しました。



名古屋の観光名所や魅力を訪日外国人へ発信

名古屋インバウンドシティ確立プロジェクト



経営学科 × 情報デザイン学科 × 名古屋青年会議所

名古屋城や大須商店街で訪日外国人や観光客へアンケート調査を実施。収集したデータを分析し、SNS活用やVTuberコラボなど若者視点の観光振興策を名古屋市役所に提言しました。



児童虐待防止や子どもの権利について広く啓発

STOP児童虐待！オレンジリボン運動プロジェクト



現代子ども教育学科 × 名古屋市守山区役所民生子ども課

児童虐待防止を啓発する「オレンジリボン運動」を実施。大学祭での親子向けのワークショップの企画・運営やフォトブロッパス体験を通じて地域住民や学生に子ども虐待防止の意識向上を促しました。



蒲郡の地場産業であるロープを活用し、魅力を発信

ロープでベンチアートプロジェクト『ヤシノミの冒険』



建築デザイン学科 × 蒲郡市(丸五製綱所)(稲葉製綱)

学生が、蒲郡市の地場産業であるロープを活用した「ヤシノミの冒険」ベンチをデザイン。地元中学生や地域ボランティアと協働でワークショップを開催し制作・設置しました。



発明・知財を通じた社会価値創出や教育・研究活用のモデルを提案

愛知の発明の日 協賛行事 知的財産特別講演－発明と知財が創る社会のミライ－



情報デザイン学科 × 山口大学 × 公益社団法人発明協会

発明協会副会長をお招きし、知的財産の重要性とその未来への可能性について実例を交えながら解説しました。この講演以降も著作権セミナーを多数開催し、2025年度の累計参加者数は1200名を超えています。



認知症理解や生活支援に関する学びの機会を提供

認知症カフェ「カフェ金城」



看護学科 × 名古屋市守山区

大森学区・大森北学区で初の認知症カフェ「カフェ金城」を開催。認知症のある人や家族、地域住民が交流できる居場所を提供し、音楽演奏や対話を通じて、認知症への理解促進と地域福祉の向上に貢献しました。





「共同研究」「受託研究」「学術研究奨励寄附」事例

Joint Research / Commissioned Research / Academic Research Donation

小麦粉アレルギーの子どもたちも食べられるパンを

米粉パン共同開発プロジェクト

食環境栄養学科 × 株式会社モア・フーズ

7年かけて小麦アレルギー対応のグルテンフリー米粉パンを共同開発。食品学・調理学・公衆栄養学・給食経営管理論の各ゼミが参画し、地元カフェでの商品化を実現しました。



eスポーツを通じた「こころのバリアフリー」の実現

バリアフリーeスポーツにおける心理的成長と交流プロセスの研究

多元心理学科 × 株式会社ePARA

バリアフリーeスポーツにおける心理的交流の研究を実施。デジタルゲームを通じた対人関係の「きっかけ」「つながり」「共感」がプレイヤーの満足感を高めることを解明しました。



廃棄される太陽光パネルのガラスを新たな建材へ

廃ガラスを活用した低炭素コンクリート研究

建築デザイン学科 × 安部日鋼工業株式会社

大量の廃棄される太陽光パネルのガラスをコンクリート材料として再利用する低炭素技術を開発。廃棄物削減・CO₂削減・資源保護を実現し、カーボンニュートラル社会に貢献しました。



天然からの贈り物を活かした創薬研究

抗肥満作用を示すロジン由来化合物に関する研究

薬学科 × ハリマ化成グループ株式会社

松由来のロジン化合物が持つ抗肥満作用について研究を実施。高脂肪食モデルで体重減少が確認され、医薬品への応用可能性を明らかにしました。



生涯学習・講座

地域の皆さまや社会人の方々が、生涯にわたって学び続けられるきっかけと学びの場を提供しています。

■公開講座

大学の正規授業や興味のある分野を学ぶ公開講座に加え、学外の団体と共同で開催する連携講座も実施。



詳しくはこちら

■教育・研究オープンリソース

教育・研究の内容を動画で公開。女性の未来や社会について考えるきっかけとなる学びをサポートします。



詳しくはこちら

お問い合わせ

企業・自治体・各種団体の皆さまとの連携事業を推進しております。教育・研究・地域貢献など、さまざまな分野での協力の可能性を模索し、共に社会に貢献することを目指しています。連携事業に関するご相談やご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

■メールでのお問い合わせ

研究推進・地域連携センター kenkyu_chiiki@kinjo-u.ac.jp

■フォームでのお問い合わせ

お問い合わせフォームは、右の二次元コードからアクセスしてください。



〈 金城学院大学 研究推進・地域連携センターHP 〉 <https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/research/>